

日本医療学院専門学校

令和3年度 学校関係者評価報告書

・実施学科

臨床検査技師学科

・実施時期

自己評価 2022年5月

学校関係者評価 2022年5月

○学校評価の方針

自己評価の公表方法
日本歯科学院専門学校において各学科の自己評価表に基づいて、自己評価を実施する。評価方法は文部科学省生涯学習政策局における「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にして定める。 自己評価についてはホームページ https://jdm.ac.jp の情報公開で公表する。
学校関係者評価の方針
各学科とも学校関係者評価 評価表に基づいて学校関係者評価を実施する。 評価項目については教育理念・目標、学校運営、教育活動、学生指導、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守の10項目の評価を実施する。 評価委員については、専門分野における業界関係者、学校運営に関する専門家より人選している。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
一般社団法人会員	2021.6.1~2023.5.31 【2年更新、任期更新】	教育関係者
病院歯科部長	2021.6.1~2023.5.31 【2年更新、任期更新】	業界関係者（産業界、就職先）
歯科技工所長	2021.6.1~2023.5.31 【2年更新、任期更新】	業界関係者（産業界、卒業生）
病院検査室長	2021.6.1~2023.5.31 【2年更新、任期更新】	業界関係者（産業界、保護者）

本校出席者

氏名	任期	所属名・役職名
上橋清美	その都度	日本歯科学院専門学校 校長
岡本栄二	その都度	日本歯科学院専門学校 事務長
山中宏之	その都度	日本歯科学院専門学校 歯科技工士学科 教務主任
神田智子	その都度	日本歯科学院専門学校 歯科衛生士学科 教務主任
西野康幸	その都度	日本医療学院専門学校 臨床検査技師学科教務主任

学校関係者評価結果の公表方法

ホームページ上の情報公開ページで公表している。 <https://www.jdm.ac.jp>

1. 学校の教育方針・目標

本校の教育方針は創立以来一貫して「学ぶ姿勢を持つ心温かい医療技術者の育成」を掲げています。

「学ぶ姿勢」を言い換えると、どんな状況であっても常に自分を伸ばしていこう、自分の中身を豊かにしていこうと向上心をもった、学ぶ意欲を持続することです。日進月歩の技術革新や変化の激しい医療の世界の中にあってもこれに即応し息長く活躍して欲しいからです。継続して勉強しないとその人は専門分野で役立たなくなるのです。

「心温かい」とは相手の立場にたって考えられる、周りの人を思いやれるということです。医療職種の国家資格は20数種類もあり、今日の医療は組織（チーム）医療が中心になっていますので、社会性をもった心根の優しい人が求められるのです。

2. 本年度に定めた目標および計画

- ・新型コロナウイルスの影響により欠席となった学生への個別授業時間の確保
- ・遠隔授業の環境整備強化、Wi-Fi 環境の整備
- ・学びの場を多様にするための校内設備リニューアルの実施
- ・国家試験対策の見直し、反省と改善点の確認、次年度以降の長期的な目標設定
- ・就職活動の支援策
- ・将来の目標を持ち続けるための目標明確化プログラムの充実
- ・教職員、講師の実力を向上するための研修会

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	④	3	2	1

① 課題

- ・法人の理念、教育方針は学生便覧やホームページで公表し、オリエンテーションで周知している。今後も継続して、教職員並びに学生に広く周知徹底すること。

② 今後の改善策

- ・学生には入学オリエンテーションや各種ガイダンス、カウンセリング時など、ことある毎に理念と教育方針を説明し、本校の学生として意識の高揚をはかる。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
・ 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・ 情報システム化等による業務効率化が図られているか。;	④	3	2	1

① 課題

・ 学校運営について、規則や規程を周知し理解を深めること。情報公開や情報システム化等の推進を行い、日々の業務の効率化をはかること。

② 今後の改善策

・ 運営方針、事業計画を決定し、会議や研修会を通じて各種情報を共有する。教職員のコミュニケーションを良くし、より良い学校運営を目指す。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育達成レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	④	3	2	1
・授業評価の実施、評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向けての授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技術等を習得するための研修や教員の指導力育成などの質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修会が行われているか	④	3	2	1

① 課題

- ・毎年、教育内容やカリキュラム、評価方法などを見直している。日常の業務と並行して、教職員の實力向上のために、研修会や各種勉強会に参加し研鑽に努めること。

② 今後の改善策

- ・時代のニーズに合った教育内容やカリキュラム編成を心がける。学生教育においても、教職員間の連携を良くして、学校の方向性、問題や情報の共有、解決にあたる。

③ 特記事項

(4) 学生指導

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・ 基本的生活習慣の確立のための取組が行われているか	④	3	2	1
・ 生徒の安全管理のための取組等が行われているか	④	3	2	1
・ 生徒、保護者からの相談体制が整備されているか	4	③	2	1
・ 進学、就職指導にかかる支援体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・ 健康状態の維持、基本的生活習慣の確立、目標明確化のためのカウンセリング制度、規則の遵守を徹底するための指導の継続を目指す。

② 今後の改善策

- ・ 学則や教育方針に基づき、これを理解し遵守することにより必要とされる医療技術者として成長する。教員と学生の意思疎通を図り、学生の満足度を高める努力を続ける。

③ 特記事項

(5) 学修成果

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図れているか	4	③	2	1
・卒業生、持効性の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

・就職、国家試験合格率、中途退学者率とも例年並みの結果となった。来年以降も改良・改善できるよう工夫すること。学生が自らの理想の将来像を描き支援を行うことが必要。

② 今後の改善策

・一人ひとりに応じた国家試験対策、就職対策、中途退学防止対策が必要である。卒業後も業界のリーダーとして活躍できるようにバックアップできるよう環境を整える。

③ 特記事項

(6) 学生支援

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1

① 課題

- ・進路相談や就職活動支援、カウンセリング体制を充実し、学生の満足度を高める。

② 今後の改善策

- ・現在の各種支援体制を改善し、学生のニーズを見極め満足度が高まる方策をする。

③ 特記事項

(7) 教育環境

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・施設、設備の整備の継続と、学外実習施設についての見直しなど社会のニーズに合わせ、より多様化させていく。防災体制について、備蓄品と設置場所、訓練などの充実。

② 今後の改善策

- ・学内の施設、設備の充実を今後も継続し、日進月歩の医療技術の進歩に対応できるようにする。防災用品の備蓄などを充実し、今後の防災関連の対策を万全にする。

③ 特記事項

(8) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

- ・志を高く、使命感をもった学生の募集に努めること。また先を見据え、少子化による影響を最小限にし、本校の教育方針に賛同する入学者の獲得を目指す。

② 今後の改善策

- ・ホームページやオープンキャンパスの内容を常に見直し、医療職のやりがいや本校の魅力について、より受験生がわかりやすいように周知徹底する。

③ 特記事項

(9) 財務

評価項目	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
・ 中長期的に学校の財務基礎は安定しているといえるか	④	3	2	1
・ 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正におこなわれているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

・ 学生が減少しても、揺らぐことない強固な財務基盤の構築と100年後も安定した学生中心の学校を維持できる健全な財政を確立すること。

② 今後の改善策

・ 日々、改善改良を心がけ、無駄を省き、必要な所に予算を配分して、よりよい教育が継続できるよう、学生も教職員も安心できるように常に改善する。

③ 特記事項

ホームページにて財務報告を公開

(10) 法令等の遵守

評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公表しているか。	4	③	2	1

① 課題

・個人情報の取り扱いについて学内で管理体制を万全にする。個人の情報に関する全ての資料を厳重に取り扱い、保管場所、守秘義務や情報管理を厳重にすること。

② 今後の改善策

・法令順守を徹底する。随時自己点検評価を実施すると共に反省、改善点を出して、その都度見直しを行う。

③ 特記事項

4. 総評

法人の理念と教育方針を中心にすえ、将来の事業計画を立案している。前年までの反省点を踏まえて意見交換を行って改善改良し、常に新たな目標を設定し教育環境を整える努力をしている。各項目について継続的に評価すること、評価について改善点を見だし、より良い教育活動の向上に努めること。